

【氏 名】田村 弘 (ひろひろ)

【職 名】教授 (国文学科)

【学 位】

【生年月日】昭和 21 (1946) 年 8 月 4 日

【本学就任】平成 24 (2012) 年 4 月 1 日

【略 歴】北海道滝川高等学校卒業

滝川市助役

滝川市長

【専門分野】都市政策、郷土史、社会調査

【担当科目】北海道と地域文化

【所属学会】

【研究テーマ】滝川の人物誌、地方都市政策

【賞 罰】平成 24 年度「河川功労者」(公益財団法人日本河川協会)

【研究業績】

【最近 5 年間の主な研究業績】[平成 24～28 年度 (5 点まで)]

(平成 24 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
新 聞	単 著	「横綱白鵬関の観光大使物語」(5 回連載)	プレス空知	平 24.2～3
論 文	単 著	「荒島哲学を懐かしむ」	米寿を祝う会	平 25.2
論 文	単 著	「すぐにできる社会調査の手引き (改訂版)」	江部乙印刷	平 28.11

【平成 23 年度以前の主な研究業績】(5 点まで)

種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
著 書	監修・共著	國學院女子短期大学開学記念誌『情熱と和の軌跡』	滝川市	昭 59.10
論 文	共 著	「新たなる課題と展望」	滝川市	昭 63.7
論 文	共 著	「中空知広域圏の歩み」	『市政と発展の軌跡』中 空知広域市町村圏組合	平 23.2
著 書	単 著	『市長室からこんにちへ』	空知新聞社	平 23.12

【最近の社会的活動】

滝川市消防協会会長 (平 24.4～現在)

茶道裏千家淡交会北海道地区空知支部支部長 (平 25.5～現在)

公益財団法人そらぶちキッズキャンプ評議員 (平 27.6～現在)

一般財団法人北門信用金庫まちづくり基金理事 (平 27.6～現在)

講演活動

「中今に生きる」公益財団法人モラロジー研究所生涯学習セミナー (平 24.9)

「滝川を築いた人々」トーク T3 研修会 (平 25.10)

「わが町の短大をめざして」滝川商工会議所議員会講演会 (平 26.2)

「地方創生と人材の時代の到来」北空知議会議員研修会 (平 27.7)

「私の歩んできた道」北門信用金庫職員講話 (平 27.9)

「北海道を築いた人々の系譜—常に人の時代であった—」トーク T3 研修会 (平 28.10)

「北海道を築いた人々の系譜—開道 150 年とその前史—」北海道神宮敬神婦人会講演会 (平 28.11)

【氏 名】山寺 三知 (ヤマデラ ミツシ)
 【職 名】教授 (国文学科)
 【学 位】修士 (文学)
 【生年月日】昭和 45 (1970) 年 8 月 14 日
 【本学就任】平成 14 (2002) 年 4 月 1 日
 【略 歴】國學院大學文学部日本文学科卒業
 國學院大學文学研究科博士課程前期終了
 國學院大學文学研究科博士課程後期満期退学

【専門分野】漢文学、中国文学、中国語
 【担当科目】漢文学概説、漢文学講読、中国語演習Ⅳ、国文基礎演習、日本文学演習 B、卒業論文Ⅰ、卒業論文Ⅱ
 【所属学会】日本中國學會、社団法人東洋音楽学会、東亞樂律學會、國學院大學中國學會
 【研究テーマ】中国古代における音楽文化の歴史的研究
 【賞 罰】なし
 【研究業績】

【最近 5 年間の主な研究業績】 [平成 24～28 年度 (5 点まで)]

(平成 24 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	単 著	「姜夔與朱熹的古琴定絃法——淺論其問世年代及二者交遊之可能性」	『第八屆東亞樂律學國際學術研討會論文集』	平 25.11
著 書	共 著	『黄鐘大呂：東亞樂律學會第 1-6 屆學術研討會論文集 2005-2011』	文化藝術出版社	平 27.11
著 書	共 著	『「隋書」音楽志訳注』	和泉書院	平 28.2
論 文	単 著	「林謙三と郭沫若——『隋唐燕楽調研究』誕生秘話」	『國學院雑誌』 117-11	平 28.11
著 書	共 著	『林謙三『隋唐燕楽調研究』とその周辺』	関西大学出版部	平 29.3

【平成 23 年度以前の主な研究業績】 (5 点まで)

種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
著 書	共 著	『尺八古琴考』	上海音楽學院出版社	平 17.7
著 書	共 著	『楽は楽なりⅡ 中国音楽論集 古楽の復元』	好文出版	平 19.3
論 文	単 著	「五代王处直墓の「散楽浮彫」について」	『國學院短期大学紀要』 26	平 21.3
論 文	単 著	「《律呂新書》校點笱記 (之一) —— 選擇底本, 兼論版本系統」	『文化藝術研究』 2-6	平 21.11
論 文	単 著	「《隋書・音楽志》標點瑣議」	『文化藝術研究』 5-1	平 24.1

【最近の社会的活動】

平成 24-26 年度科学研究費補助金 (基盤研究 (B)) 「隋唐楽府文学の総合的研究」 (課題研究番号 24320070、代表: 関西大学 長谷部剛) 研究分担者 (平 24.4～平 26.3)

平成 27 年度科学研究費補助金 (基盤研究 (B)) 「隋唐燕楽歌辞の文学的・音楽学的アプローチによる双方向的研究」 (課題研究番号 15H03197、代表: 関西大学 長谷部剛) 研究分担者 (平成 27.4～現在)

一般財団法人短期大学基準協会 第三者評価 評価員候補者 (平成 27.4～現在)

【氏 名】安田 義明 (ヤスタ ヨシアキ)
【職 名】教授 (国文学科)
【学 位】学士 (文学)
【生年月日】昭和 22 (1947) 年 7 月 11 日
【本学就任】昭和 61 (1986) 年 4 月 1 日
【略 歴】國學院大學文学部日本文学科卒業
中学校および高等学校に勤務

.....
【専門分野】近代文学

【担当科目】近代文学概論 文芸論 日本文学演習 C 卒業論文 I 卒業論文 II 国文基礎演習

【所属学会】芸術至上主義文芸学会 (理事)

【研究テーマ】近代文学における物語

【賞 罰】なし

【研究業績】

【最近 5 年間の主な研究業績】 [平成 24～28 年度 (5 点まで)]

(平成 24 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
著 書	編 著	『円地文子事典』	鼎書房	平 24.5
著 書	共 著	『金子みすゞ 愛と願い』	勉誠出版	平 24.8
著 書	共 著	『北海道文学事典』	勉誠出版	平 25.7
著 書	共 著	『金子みすゞ作品鑑賞事典』	勉誠出版	平 26.11
論 文	単 著	「石川淳『紫苑物語』論—近代文学における〈物語〉として」	『滝川国文』 31	平 27.3

【平成 23 年度以前の主な研究業績】 (5 点まで)

種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	単 著	「太宰治『新釈諸国噺』論—〈わたくしのさいかく〉への変容」	『國學院短期大学紀要』 25	平 20.3
著 書	共 著	『太宰治研究 18』	和泉書院	平 22.4

【最近の社会的活動】

講演「文学と空知」第 1 回地元文学セミナー (平 26.12) 本学図書館

講演「近代文学と昔話—芥川龍之介『桃太郎』を中心に—」uhb 大学 (平 28.6) 道新ホール

講演「近代文学と昔話—尾崎紅葉『鬼桃太郎』を中心に—」 (平 28.10) 小樽商科大学札幌サテライト大講義室

講演「講宮沢賢治の魅力—『銀河鉄道の夜』を中心に—」第 3 回地元文学セミナー (平 28.11) 本学図書館

【氏名】月岡 道晴 (ツカカミ ヒカル)

【職名】教授 (国文学科)

【学位】修士 (文学)

【生年月日】昭和 50 (1975) 年 2 月 17 日

【本学就任】平成 16 (2004) 年 5 月 1 日

【略歴】國學院大學文学部文学科卒業

國學院大學大学院文学研究科日本文学専攻博士課程前期修了

國學院大學大学院文学研究科日本文学専攻博士課程後期単位取得満期退学

國學院短期大学国文学科非常勤講師

【専門分野】上代日本文学、古代和歌研究、現代短歌研究、短歌創作

【担当科目】国文基礎演習、卒業論文 I・II、日本文学史、日本文学講読、伝承文学概説

【所属学会】上代文学会 (理事)、萬葉学会、美夫君志会 (理事)、古代文学会、日本文学協会 (委員)

【研究テーマ】助辞を視点とする万葉和歌の解釈、古代文献の表記、近現代における古代和歌の享受

【賞罰】第 30 回北海道新聞短歌賞佳作受賞

【研究業績】

【最近 5 年間の主な研究業績】				
種類	区分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論文	単著	「夢に姿を見る一人麻呂歌集卷十・二二四一歌の訓みをめぐって一」	『國學院雑誌』 111-10	平 26.10
著書	共著	『和歌文学大辞典』	古典ライブラリー	平 26.12
著書	単著	『とりよろへ山河』	いの舎	平 27.7
論文	単著	「近江荒都歌の構造と視点―『いかさまに思ほしめせか』と『諾しこそ』―」	『美夫君志』91	平 27.11
論文	単著	「梓弓と真弓―久米禅師と石川郎女との問答歌―」	『国語と国文学』93-11	平 28.11

【平成 23 年度以前の主な研究業績】				
種類	区分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論文	単著	「『無内容な歌』の内容―釈道空の晩年の歌論用語について―」	『滝川国文』 23	平 19.3
論文	単著	「『毛桃の下に月夜さし』―巻十・一八八九歌の譬喩について―」	『青木周平先生追悼 古代文芸論叢』	平 22.11
論文	単著	「風に乗って何が運ばれるのか―漢籍の受容と表現する身体―」	『古代文学』 52	平 25.3

【最近の社会的活動】

滝川市たきかわ文化村委員 (平 22.1 年～平 27.12) [平成 24 年 11 月 11 日・18 日に短歌講座「たきかわ万葉集―恋編―」を、12 月 16 日に「短歌&書道ライブ」を開催、俳人堀本裕樹、歌人山田航とともに「HaikuBar」を開催(平成 26 年 9 月 27 日、平成 27 年 9 月 5 日、平成 28 年 8 月 7 日)]

朝日カルチャーセンター講師 [萬葉集] (平 23.4 年～現在)

財団法人滝川市生涯学習振興会講座リブラーン講師 [古典文学] (平 24.4 年～現在)

NHK文化センター札幌教室講師 [萬葉集、日本書紀、短歌創作] (平 27.4 年～現在)

【氏名】森 悟朗 (モリゴウ)

【職名】准教授 (国文学科)

【学位】修士 (宗教学)

【生年月日】昭和 47 (1972) 年 11 月 26 日

【本学就任】平成 25 (2013) 年 4 月 1 日

【略歴】慶應義塾大学文学部人間関係学科社会学専攻卒業

國學院大學大学院文学研究科博士課程前期神道学専攻修了

國學院大學大学院文学研究科博士課程後期神道学専攻単位取得退学

國學院大學研究開発推進機構助教

國學院大學研究開発推進機構共同研究員

【専門分野】宗教民俗学、宗教社会学

【担当科目】国学Ⅰ、国学Ⅱ、日本の歴史A、史学演習ⅠB (導入)、史学演習ⅡB (基礎)、国文基礎演習、卒業論文Ⅰ、卒業論文Ⅱ

【所属学会】日本宗教学会、「宗教と社会」学会、神道宗教学会、日本山岳修験学会、日本民俗学会

【研究テーマ】近現代日本の民俗宗教の宗教民俗学的・宗教社会学的研究。

特に神社・寺院等に関わる民俗宗教と観光との歴史的・社会的関係の研究。

【賞罰】なし

【研究業績】

【最近 5 年間の主な研究業績】 [平成 24～28 年度 (5 点まで)]

(平成 24 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

種類	区分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
著書	共著	山中弘編著『宗教とツーリズム—聖なるものの変容と持続—』 (担当部分：第 2 章「「湘南」の誕生と江の島の変容」)	世界思想社	平 24.7
著書	共著	長谷部八朗編著『「講」研究の可能性』(担当部分：「神風講社 と浪花講・三都講・一新講社」)	慶友社	平 25.5

【平成 23 年度以前の主な研究業績】 (5 点まで)

種類	区分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
著書	共著	神田より子編著『鳥海山麓遊佐の民俗』(担当部分：第 5 章第 3 節「藤崎の年中行事—植林の記憶をめぐって—」)	遊佐町教育委員会	平 18.3
論文	単著	「戦後の神奈川県江の島における観光地化と神社・住民—住 民のまちづくり活動を中心に—」	『國學院大學研究開発推 進センター研究紀要』1	平 19.3
著書	共著	森悟朗・新井大祐・大東敬明『言説・儀礼・参詣—〈場〉と 〈いとなみ〉の神道研究—』(担当部分：第 3 部「参詣篇—神 社と参詣・観光—」)	弘文堂	平 21.3

【最近の社会的活動】

國學院大學北海道短期大学部公開市民講座セミナーCATY 講師 (平 25.7～現在)

一般財団法人滝川生涯学習振興会講師 (平 25.9～現在)

北海道神社庁中堅神職講習会講師 (平 25.6～現在)

北海道新聞社ぶんぶんクラブ教養講座講師 (平成 26.11～現在)

滝川市美術自然史館岩橋英遠アーツプラン実行委員会実行委員 (平 27.4～現在)

【氏 名】秋山 晴人 (アキヤマ ハルト)

【職 名】准教授 (国文学科)

【学 位】学士 (教育学)

【生年月日】昭和 29 (1954) 年 4 月 12 日

【本学就任】平成 28 (2016) 年 4 月 1 日

【略 歴】北海道教育大学札幌分校・小学校課程 (国文学・国語科教育学専攻) 卒業

札幌市教育委員会指導主事

札幌市立三角山小学校校長

【専門分野】国語科教育法、学校経営、教員養成

【担当科目】教育課程論、教育方法論 (国語)、国語科教育方法、国語概説、国語科指導法、教育相談、生徒指導、
教育実習 I・II、教育実践演習、卒業論文 I・II

【所属学会】北海道国語教育連盟、日本国語教育学会、全国大学国語教育学会

【研究テーマ】言語意識を高める国語科教育の在り方に関する研究

【賞 罰】なし

【研究業績】

【最近 5 年間の主な研究業績】 [平成 24～28 年度 (5 点まで)]

(平成 24 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月

【平成 23 年度以前の主な研究業績】 (5 点まで)

種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
著 書	共 著	『新しい学力観に立つ授業展開のポイント 国語科』	東洋館出版社	平 6.8
論 文	共 著	「子供の自己実現につながる学習指導に関する研究」	『札幌市教育研究所研究 紀要』 20	平 10.3
論 文	共 著	「子どもの学習状況に関する比較研究～日米の子どもの学習 状況の相違」	『札幌市教育研究所研究 紀要』 21	平 11.3
著 書	共 著	『教育改革の中の子どもたち～生活・人間関係・自己像・学校 の視点から』	東洋館出版社	平 15.3
論 文	共 著	教員 10 年経験者研修の評価研究：参加者の視点から	『北海道教育大学 教育 実践総合センター紀要』 7	平 18.3

【最近の社会的活動】

札幌市教育委員会 教科用図書選定審議会小学校部会 (国語科) 委員長 (平 22.4～平 23.3)

札幌市教育委員会 札幌市小学校教育課程編成の手引 (国語科編) 作成委員長 (平 22.4～平 23.3)

札幌市小学校長会 事務局研究部長 (平 23.4～平 25.3)

北海道国語教育連盟 常任委員 (平 23.4～平 27.3)

札幌市小学校長会 副会長 (平 25.4～平 27.3)

札幌市 PTA 協議会副会長 (平 26.4～平 27.3)

札幌市教育委員会 新たな「札幌市教育振興基本計画」検討会議委員 (平 26.4～平 27.3)

【氏 名】 渡辺 開紀 (ワタベ カキ)

【職 名】 助教 (国文学科)

【学 位】 修士 (文学)

【生年月日】 昭和 55 (1980) 年 4 月 22 日

【本学就任】 平成 29 (2017) 年 4 月 1 日

【略 歴】 國學院大學文学部日本文学科卒業

國學院大學文学研究科日本文学専攻博士課程前期修了

國學院大學文学研究科日本文学専攻博士課程後期満期退学

【専門分野】

【担当科目】 日本文学史 A、日本文学史 B、日本文学講読 A、日本文学講読 B、古典語の基礎 A、古典語の基礎 B、
日本文学演習 B、日本語の基礎、国文基礎演習、卒業論文 I、卒業論文 II

【所属学会】 國學院大學國文学会、日記文学会 (監事)、中古文学会、全国大学国語国文学科、

【研究テーマ】 『和泉式部日記』 を中心とする王朝文学

【賞 罰】 なし

【研究業績】

【最近 5 年間の主な研究業績】 [平成 24～28 年度 (5 点まで)]

(平成 24 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
著 書	共 著	『誰も書かなかった 清少納言と平安貴族の謎』	株式会社 KADOKAWA	平 25.
論 文	単 著	『和泉式部日記』 の反実仮想	平安文学研究第 7 号	平 28.3

【平成 23 年度以前の主な研究業績】 (5 点まで)

種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	単 著	『和泉式部日記』 における遁世感の意義	國學院大學大学院紀要 39	平 20.3
論 文	単 著	応永本『和泉式部物語』 の特質	日記文学研究誌第 11 号	平 21.3
論 文	単 著	応永本『和泉式部物語』 の矛盾	平安文学研究第 1 号	平 21.9
著 書	共 著	『王朝文化を学ぶ人のために』	世界思想社 II 「王朝文化辞典」	平 22.
論 文	単 著	『和泉式部日記』 の服飾表現	文学・語学 第 199 号	平 23.3

【最近の社会的活動】

【氏 名】管野 逸一 (かノトカズ)
【職 名】准教授 (国文学科)
【学 位】学士 (文学)
【生年月日】昭和 24 (1949) 年 1 月 26 日
【本学就任】平成 22 (2010) 年 4 月 1 日
【略 歴】國學院大學文学部文学科卒業
國學院大學文学部史学科卒業

.....
【専門分野】史学・文学

【担当科目】総合教養、日本語の基礎、史学演習 I A (導入)、史学演習 II A (基礎)

【所属学会】儀禮文化學會

【研究テーマ】北海道における民間信仰の研究、地域史研究、文学における祭祀と女性奉斎者

【賞 罰】なし

【研究業績】

【最近 5 年間の主な研究業績】 [平成 24～28 年度 (5 点まで)]

(平成 24 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	共 著	「軍都旭川の殉役軍馬の碑」	『上川の馬頭さん』北海 道馬頭観音研究会	平 26.10

【平成 23 年度以前の主な研究業績】 (5 点まで)

種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	共 著	「神性女性考—鹿島物忌について」	『儀礼文化』 14	平 2.4
著 書	単 著	『旭川の碑』	旭川振興公社 (旭川叢書 20)	平 4.9
著 書	共 著	『安部公房と旭川』	旭川新書 2	平 8.1

【最近の社会的活動】

旭川市博物館協議会委員 (平 7.4～平 11.3)

講演 (旭川市博物館) 「北海道人の精神史序説」 (平 7.12)

講演 (旭川市永山図書館) 「永山の歴史を語る」 (平 22.9)

旭川古文書の会副会長 (平 20.5～平 28.10)

旭川古文書の会会長 (平 28.11～現在)

講座「初心者のための古文書」全 5 回 (平 25.5～平 25.6)

講演 (旭川兵村記念館) 「旭川ペーパン地域の石碑と歴史」 (平 28.6)

【氏 名】太田 信二 (材ヲ シヅ)

【職 名】教授 (総合教養学科)

【学 位】修士 (社会学)

【生年月日】昭和 26 (1951) 年 12 月 16 日

【本学就任】平成 3 (1991) 年 4 月 1 日

【略 歴】北海道大学文学部哲学科卒業

一橋大学大学院社会学研究科修士課程修了

一橋大学大学院社会学研究科博士課程単位修得退学

【専門分野】哲学・倫理学

【担当科目】哲学、倫理学、西洋哲学史 A・B、西洋思想史、ゼミナール I・II、英語演習 I

【所属学会】日本哲学会、日本倫理学会、日本ヘーゲル学会

【研究テーマ】論理学、認識論、ヘーゲル哲学、生命倫理学

【賞 罰】なし

【研究業績】

【最近 5 年間の主な研究業績】 [平成 24~28 年度 (5 点まで)]

(平成 24 年 4 月 1 日~平成 28 年 3 月 31 日)

種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	単 著	「文学—科学—道徳 —— 戸坂潤における「認識」をめぐって」	『國學院大學北海道短期大学部紀要』30	平 25.3

【平成 23 年度以前の主な研究業績】 (5 点まで)

種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	単 著	「ヘーゲル『懐疑主義論文』における《関係》の論理をめぐって」	『國學院短期大学紀要』19	平 13.3
論 文	単 著	「01/02 年におけるヘーゲルの論理学構想について——ヘーゲルの最初の講義草稿にもとづいて」	『國學院短期大学紀要』21	平 16.3
論 文	単 著	「ヘーゲル『論理学』における限界の弁証法をめぐって」	『國學院短期大学紀要』23	平 18.3
論 文	単 著	「想像力とその映像化をめぐって」	『國學院短期大学紀要』24	平 19.3
論 文	単 著	「01/02 年における論理学についてのヘーゲルの講義と思惟と存在との同一性の見地——トロックスラーのノートから見て」	『國學院短期大学紀要』26	平 21.3

【最近の社会的活動】

一般社団法人滝川国際交流協会副会長(平 27.5~現在)

【氏 名】平野 泰樹 (ヒラノ ヤキ)

【職 名】教授 (総合教養学科)

【学 位】博士 (法学)

【生年月日】昭和 24 年 (1949 年) 4 月 9 日

【本学就任】昭和 57 年 (1982 年) 4 月 1 日

【略 歴】國學院大学法学部法律学科卒業

國學院大学法学研究科修士課程修了

國學院大学法学研究科博士課程単位取得満期退学

【専門分野】刑法学、少年法、フランス刑事法、医療と法

【担当科目】刑法入門 A、刑法入門 B、法学 (日本国憲法)、少年保護論、現代と法、法学入門、ゼミナール I、ゼミナール II、総合教養

【所属学会】日本刑法学会、日本犯罪社会学会、日本インターンシップ学会

【研究テーマ】少年と刑罰、死刑と憲法、法と医学 (安楽死、尊厳死、胎児と法、臓器移植法、インフォームド・コンセント)、フランス刑事法の歴史的展開

【賞 罰】なし

【研究業績】

【最近 5 年間の主な研究業績】 [平成 24~28 年度 (5 点まで)]

(平成 24 年 4 月 1 日~平成 28 年 3 月 31 日)

種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	単 著	「尊厳死 ー延命医療中止の法的様相ー」	『國學院大学北海道短期大学部紀要』30	平成 25.3

【平成 23 年度以前の主な研究業績】 (5 点まで)

種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	単 著	「フランス刑法における新旧両派の相克」『近代刑事法の理念と現実』(柏木千秋先生喜寿記念論集)	立花書房	平 3.2
論 文	単 著	「少年と刑罰」『少年法の展望』(澤登俊雄先生古希祝賀論集)	現代人文社	平 12.3
著 書	単 著	『近代フランス刑事法における自由と安全の史的展開』	現代人文社	平 14.2
論 文	共 著	「墮胎の罪」	『基本コンメンタール刑法第 3 版』日本評論社	平 19.5
論 文	単 著	「胎児と法 (1)」「胎児と法 (2)」	『國學院大学北海道短期大学部紀要』24、27	平 19.3 平 22.3

【最近の社会的活動】

滝川市立高等看護学院講師 (平 2.4~現在)

深川市立高等看護学院講師 (平 12.4~現在)

滝川市情報公開・個人情報保護審査会委員会 (会長) (平 18.3~平 28.3)

滝川地区広域消防事務組合情報公開審査会委員会 (会長) (平 20.4~平 28.3)

上砂川町まち・ひと・しごと創生「上砂川町総合戦略策定委員会」委員 (平 27.6~平 28.3)

【氏 名】牧野 多聞 (マキノ タケノ)

【職 名】教授 (総合教養学科)

【学 位】修士 (理学)

【生年月日】昭和 27 (1952) 年 6 月 4 日

【本学就任】昭和 57 (1982) 年 4 月 1 日

【略 歴】学習院大学理学部物理学科 卒業

学習院大学大学院自然科学研究科物理学専攻修士課程 修了

学習院大学理学部 助手

【専門分野】物理学、自然科学、情報科学

【担当科目】パソコン、インターンシップ、パソコン演習、自然界のしくみ、科学の歴史、情報処理論、コンピュータA、ゼミナールI、ゼミナールII、教養総合

【所属学会】物理教育学会、応用物理学会

【研究テーマ】物理教育、自然科学教育、情報教育

【賞 罰】なし

【研究業績】

【最近 5 年間の主な研究業績】 [平成 24～28 年度 (5 点まで)]

(平成 24 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
著 書	単 著	『インターンシップ 実務知識・演習教本 [第 2 版]』	國学院大學北海道短期大 学部	平 26.4

【平成 23 年度以前の主な研究業績】 (5 点まで)

種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	単 著	「短期大学における物理教育」	『國学院女子短期大学紀 要』 1	昭 58.3
論 文	単 著	「文化系短期大学における情報処理教育」	『國学院女子短期大学紀 要』 6	昭 63.3
論 文	単 著	「情報教育が直面する問題—高校教育との役割分担と連携」	『國学院女子短期大学紀 要』 20	平 15.3
論 文	単 著	「情報発信能力の育成を目指したカリキュラムと授業展開」	『國学院女子短期大学紀 要』 24	平 19.3
著 書	単 著	『インターンシップ 実務知識・演習教本』	國学院大學北海道短期大 学部	平 23.10

【最近の社会的活動】

産学連携教育研究所所長 (平 23.4～現在)

一般社団法人滝川市体育協会評議員 (平 23.4～現在)

【氏 名】佐野 博之 (サノ ヒロユキ)

【職 名】教授 (総合教養学科)

【学 位】学士 (教育学)

【生年月日】昭和 28(1953)年 9 月 2 日

【本学就任】平成 26(2014)年 4 月 1 日

【略 歴】北海道教育大学教育学部釧路分校小学校教員養成課程卒業
北海道教育庁空知教育局生涯学習課長
岩見沢市立東小学校長

【専門分野】教育学、教育法学

【担当科目】教育原理、教育法規、介護等体験、ゼミナールⅠ・Ⅱ、教育実習Ⅰ・Ⅱ、教職入門、
教職実践演習、道德教育論、教育史、特別支援教育論

【所属学会】法と教育学会、日本教育会、北海道教育振興会、北海道社会科教育連盟

【研究テーマ】教育法規に即した適切な学校経営の在り方についての研究
効果的かつ適切な教職課程の在り方についての研究

【賞 罰】なし

【研究業績】

【最近 5 年間の主な研究業績】 [平成 24～28 年度 (5 点まで)]

(平成 24 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	単 著	調和のとれた学校運営実現のための具体的方策についてⅢ	岩見沢市教育委員会「校	平 25.5
論 文	単 著	調和のとれた学校運営実現のための具体的方策についてⅣ	長の思い」所収	平 24.5

【平成 23 年度以前の主な研究業績】 (5 点まで)

種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
指導資料	共 著	平成 15 年度学校教育指導資料「子どもたちに学ぶ意欲を育む ために」	北海道教育庁生涯学習部 小中・特殊教育課	平 16.3
指導資料	共 著	平成 15 年度小学校教育課程改善の手引「評価の充実」	同 上	平 16.3
指導資料	共 著	平成 15 年度中学校教育課程改善の手引「評価の充実」	同 上	平 16.3
論 文	単 著	調和のとれた学校運営実現のための具体的方策についてⅠ	岩見沢市教育委員会「校	平 22.5
論 文	単 著	調和のとれた学校運営実現のための具体的方策についてⅡ	長の思い」所収	平 23.5

【最近の社会的活動】

岩見沢市交通安全推進協議会委員 (平 22.4～平 25.3)

岩見沢市民憲章推進委員会理事 (平 22.4～平 25.3)

空知管内社会科研究会顧問 (平 22.4～現在)

岩見沢市学校通学区域審議会委員長 (平 26.6)

岩見沢市教育委員会「寿大学」講師 (平 27.5～平 27.8)

北海道教育庁空知教育局「子どもの自殺が起きたときの背景調査会」委員長 (平 27.6～平 28.3)

新十津川町・雨竜町「子どもの自殺が起きたときの背景調査会」委員 (平 27.4～平 29.3)

北海道滝川西高等学校「学校関係者評価委員会」委員長 (平 27.4～平 29.3)

北海道教育庁空知教育局「子供の自殺が起きたときの背景に係る意見聴取会」委員長 (平 28.10～平 29.3)

【氏 名】 Timothy M. Blankley (ティモシー・M・ブランクリー)

【職 名】 准教授 (総合教養学科)

【学 位】 Master of Education (TESOL)

【生年月日】 昭和 37 (1962) 年 5 月 16 日

【本学就任】 平成 9 (1997) 年 4 月 1 日

【略 歴】 The University of Southern Queensland

【専門分野】 applied linguistics (応用言語学)

【担当科目】 英語コミュニケーション A、英語コミュニケーション B、英語コミュニケーション C、TOEIC Bridge、英語表現法、ゼミナール II、総合教養

【所属学会】 JALT (The Japanese Association of Language Teachers: 全国語学教育学会)

【研究テーマ】 TESOL (Teaching English as a Second Language: 第二言語としての英語教授法)

【賞 罰】 なし

【研究業績】

【最近 5 年間の主な研究業績】 [平成 24~28 年度 (5 点まで)]

(平成 24 年 4 月 1 日~平成 28 年 3 月 31 日)

種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	単 著	Interrogating code-switching in task-based language teaching	<i>Language Studies</i> 21 (小樽商科大学)	平 25.3
学会発表	単 著	Communicative engagement with extensive reading	全国語学教育学会北海道支部年次大会	平 25.9
学会発表	共 著	“Exploring the communicative potential of ER”	大学英語教育学会 2013 年度北海道支部研究会 3	平 26.3
学会発表	共 著	“Will it blend? —unboxing the product”	大学英語教育学会 2014 年度北海道支部研究会 2	平 26.11
学会発表	単 著	“Why bears are hunted—extensive reading with local texts”	全国語学教育学会研年次大会	平 28.10

【平成 23 年度以前の主な研究業績】 (5 点まで)

種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	単 著	Narrative Identity : Life as an Interpretation	『國學院短期大学紀要』 25	平 20.3
論 文	単 著	“Gestural behavior in foreign language learning”	『國學院短期大学紀要』 26	平 21.3
論 文	単 著	“Politeness Contested”	『國學院大學北海道短期大学部紀要』 28	平 23.3
論 文	単 著	“Developing Learner Autonomy with CALL: an evaluation”	『國學院大學北海道短期大学部紀要』 29	平 24.3

【最近の社会的活動】

滝川市立高等看護学院講師 (英語、平 10.4~現在)

【氏 名】舛井 雄一 (マシ くん)

【職 名】准教授 (総合教養学科)

【学 位】修士 (会計学)

【生年月日】昭和 51 (1976) 年 8 月 27 日

【本学就任】平成 20 (2008) 年 4 月 1 日

【略 歴】國學院大學経済学部経済学科卒業
一橋大学大学院商学研究科経営・会計専攻修士課程修了
株式会社レインズインターナショナル
國學院大學栃木短期大学兼任講師

【専門分野】学生参加型のまちづくり、公会計、財務会計

【担当科目】簿記と財務報告、ゼミナールⅠ、ゼミナールⅡ、キャリア演習、教養総合、経済入門、職業論、職場の人間関係、
ビジネス実務総論、ビジネス実務演習、職業研究Ⅰ、職業研究Ⅱ

【所属学会】国際公会計学会、北海道自治体学会、地域活性学会

【研究テーマ】学生参加型のまちづくり

【賞 罰】なし

【研究業績】

【最近 5 年間の主な研究業績】 [平成 24～28 年度 (5 点まで)]

(平成 24 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	単 著	地方自治体における内部統制改革の現状と課題	『國學院大学北海道短期 大学部紀要』 29	平成 24.3
論 文	単 著	新地方公会計制度における基準モデルの現状と課題 - 北海道のケース -	『國學院大学北海道短期 大学部紀要』 30	平成 25.3
論 文	単 著	大学生参加型の「域学連携」まちづくり (1)	『國學院大学北海道短期 大学部紀要』 32	平成 27.3
論 文	単 著	大学生参加型の「域学連携」まちづくり (2)	『國學院大学北海道短期 大学部紀要』 33	平成 28.3

【平成 23 年度以前の主な研究業績】 (5 点まで)

種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	単 著	減損会計基準の位置づけについての一考察	『國學院商学』 14	平成 17.3
論 文	単 著	公会計と財務会計の差異についての一考察	『國學院大学北海道短期 大学部紀要』 28	平成 23.3

【最近の社会的活動】

滝川市自治基本条例策定市民会議委員長 (平 22.9～平 24.3)

江部乙まちづくり研究会幹事 (平 24.4～平 26.3)

滝川市公共施設マネジメント会議委員 (平 25.4～平 26.3)

滝川市いじめ問題連絡協議会委員 (平 26.4～現在)

滝川市文化ゾーン検討委員会委員 (平 28.7～現在)

東海村産業・情報プラザ利活用活性化ワークショップアドバイザー (平 28.7～現在)

たきかわ紙袋ランタンフェスティバル副実行委員長 (平 28.10～現在)

【氏 名】二ノ宮 靖史 (ニノミヤ ヤス)

【職 名】准教授 (総合教養学科)

【学 位】修士 (言語学)

【生年月日】昭和 43 (1968) 年 3 月 14 日

【本学就任】平成 21 (2009) 年 4 月 1 日

【略 歴】上智大学外国語学部英語学科卒業

上智大学大学院外国語学研究科言語学専攻博士前期課程修了

國學院大學文学部兼任講師

【専門分野】音声学、言語学、言語教育、異文化理解

【担当科目】英語リーディング演習、英語基礎演習、エクステンシブリーディング、言語学概論、ゼミナールⅠ、
ゼミナールⅡ、総合教養

【所属学会】日本音声学会、大学英語教育学会、言語研究学会

【研究テーマ】音と文字の関係、英語・日本語の音声分析、言語教育における指導法、各国の文化

【賞 罰】なし

【研究業績】

【最近 5 年間の主な研究業績】 [平成 24～28 年度 (5 点まで)]

(平成 24 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
著 書	共 著	『中学総合的研究 英語 三訂版』	旺文社	平 25.1
論 文	共 著	「日本人英語学習者の英語弱化母音」	『國學院大學北海道短期 大学部紀要』 30	平 25.3
論 文	共 著	「英語教育における文字の位置付け—就学前、小学校、中学校を例として」	『國學院大學北海道短期 大学部紀要』 31	平 26.3
論 文	単 著	「大文字・小文字の多重性—現代の英語表記を例にして」	『國學院雑誌』 115-11	平 26.11
論 文	単 著	「記号の転用—文字の質的变化の観点から」	『言語の世界』 33-2	平 27.12

【平成 23 年度以前の主な研究業績】 (5 点まで)

種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	単 著	「ローマ字論から文字論へ—俯瞰的考察の試み」	『言語の世界』 27-1/2	平 21.12
論 文	共 著	「言語教育におけるワークシートの有効活用—大学英語を例として」	『國學院大學北海道短期 大学部紀要』 27	平 22.3
論 文	共 著	「英語文学教育における映像の活用—カズオ・イシグロ『日の名残り』を例に」	『國學院大學北海道短期 大学部紀要』 28	平 23.3
論 文	単 著	「英語の綴り字と音標文字の補完的共存」	『言語の世界』 29-1/2	平 23.12
論 文	共 著	「大学英語教育におけるデジタルメディア活用の可能性—専門科目を中心に」	『國學院大學北海道短期 大学部紀要』 29	平 24.3

【最近の社会的活動】

一般社団法人滝川国際交流協会副会長 (平 23.5～平 27.5)

滝川市廃棄物等減量推進審議会委員 (平 23.7～平 25.7)

一般財団法人滝川生涯学習振興会講師 (平 23.10～現在)

北海道滝川市「英語力を強化する指導改善の取り組み」運営指導委員 (平 24.6～平 25.3)

北海道滝川市「英語によるコミュニケーション能力・論理的思考力を強化する指導改善の取組」運営指導委員 (平 25.4～平 26.3)

北海道第 5 採択地区教科用図書採択委員 (英語、平 27.6～平 27.8)

【氏 名】草薙 恵美子 (クサギ エミコ)
 【職 名】教授 (幼児・児童教育学科 幼児保育コース)
 【学 位】修士 (教育学)、修士 (理学)
 【生年月日】昭和 33 (1958) 年 4 月 19 日
 【本学就任】平成 13 (2001) 年 4 月 1 日
 【略 歴】奈良女子大学理学部化学科卒業
 奈良女子大学大学院理学研究科化学専攻修士課程卒業
 北海道大学大学院教育学研究科博士後期課程教育学専攻単位修得退学

【専門分野】発達心理学
 【担当科目】発達心理学Ⅰ・Ⅱ、教育心理学、臨床心理学、教職実践演習、保育内容 (人間関係)、保育内容 (環境)、
 保育実習指導Ⅰ、教育と福祉の基礎
 【所属学会】Society for Research in Child Development、日本心理学会、日本発達心理学会、日本教育心理学会、日本保育学会
 【研究テーマ】子どもの気質発達、子どもの発達への環境化学物質暴露の影響
 【賞 罰】なし
 【研究業績】

【最近 5 年間の主な研究業績】 [平成 24～28 年度 (5 点まで)]				
(平成 24 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	共 著	The Development of Infant Temperament and Its Relationship with Maternal Temperament.	<i>Psychologia</i> , 57(1)	平 26.3
学会発表	共 著	The development of child temperament and the presence of sibling.	16th European Conference on Developmental Psychology,	平 26.9
学会発表	共 著	「日本 5 地域の子どもの毛髪水銀量と魚摂取」	環境ホルモン学会第 17 回研究発表会	平 26.12
論 文	単 著	「気質」	『児童心理学の進歩 2015 年版』金子書房	平 27.6
学会発表	共 著	Regional differences in and factors influencing children's play in Japan.	31st International Congress of Psychology.	平 28.7

【平成 23 年度以前の主な研究業績】 (5 点まで)				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	共 著	Psychometric Properties of the Toddler Behavior Assessment Questionnaire applied to Japanese children.	<i>Psychologia</i> , 43	平 12.12
論 文	共 著	「仮想場面での幼児の物語産出と共感的反応及び後の道徳性の発達との関係」	『北海道心理学研究』24	平 13.3
論 文	共 著	Perturbation of Japanese mother-infant habitual interactions in the double video paradigm and relationship to maternal playfulness.	<i>Infant Behavior and Development</i> , 30	平 19.5

【最近の社会的活動】

科学研究費助成事業第 1 段審査委員 (平 23.12 月～25.11)
 短期大学基準協会第三者評価評価員 (平 25.4 月～平 26.3)
 滝川市保健医療福祉推進市民会議委員 (平 26.5～現在)

教員免許更新制免許状更新講習講師 (平成 27 年度)
 北海道心理学会研究奨励賞選考委員会委員長 (平成 28 年度)

【氏 名】黒阪 陽一 (カカ 陽一)
 【職 名】教授 (幼児・児童教育学科 幼児保育コース)
 【学 位】学士 (教育学)
 【生年月日】昭和 23 (1948) 年 9 月 13 日
 【本学就任】昭和 57 (1982) 年 4 月 1 日
 【略 歴】北海道教育大学札幌校特設美術工芸教員養成課程卒業
 北星学園女子中学・高校非常勤講師
 Circuro de Bellas Artes-MADRID 留学

【専門分野】美術 (絵画制作)
 【担当科目】造形の基礎 I・II、造形表現法 I・II、保育内容・表現、総合表現 I・II
 保育実習指導 II、教育と福祉の基礎
 【所属学会】一般社団法人日洋会
 【研究テーマ】油彩古典技法の今日的な表現方法について
 【賞 罰】なし
 【研究業績】

【最近 5 年間の主な研究業績】 [平成 24～28 年度 (5 点まで)]

(平成 24 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
作 品		「日洋展」出品 (委員賞、評議員に推挙)	一般社団法人日洋会 (国立新美術館)	平 24.5
		「日展」出品	公益社団法人 日展	平 24.10
		「日洋会選抜展」	一般社団法人 日洋会	平 25.6
		「ベストセレクション 2014」展出品	東京都 (東京都美術館)	平 26.5
		「日展」出品	公益社団法人 日展 (国立新美術館)	平 26.10

【平成 23 年度以前の主な研究業績】 (5 点まで)

種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
作 品		昭和 55 年より 日洋展出品 (受賞 5 回、平成 17 年より審査員)	一般社団法人 日洋会 (国立新美術館その他)	昭 55～平 28
		昭和 58 年より 日展出品 (入選 21 回、平成 11 年会友推挙)	公益社団法人 日展 (国立新美術館その他)	昭 58～平 27
		北海道の美術「イメージ道」、「イメージ群」展	北海道 (道立近代美術館)	昭 59、昭 62
		第 27 回損保ジャパン美術財団選抜奨励展出品	損保ジャパン美術財団 (損保ジャパン東郷青児美術館)	平 19.3

【最近の社会的活動】

北海道現代具象展実行委員として北海道内各地 (札幌、小樽、苫小牧、千歳、室蘭、滝川、深川、鹿追その他) で美術展を開催 (平 4～平 29)

【氏 名】松田 由理子 (マツダ ユリコ)

【職 名】教授 (幼児・児童教育学科 幼児保育コース)

【学 位】学士 (芸術学)

【生年月日】昭和 24 (1949) 年 1 月 19 日

【本学就任】昭和 57 (1982) 年 4 月 1 日

【略 歴】東京芸術大学音楽学部声楽科卒業

Accademia Musicale Ottorino Respighi Corso di Interpretazione e Seminari 修了

イタリア オットリーノ レスピーギ音楽院講習会修了

【専門分野】音楽 声楽

【担当科目】音楽の基礎Ⅰ、音楽の基礎Ⅱ、音楽表現Ⅰ、音楽表現Ⅱ、ピアノ実技Ⅰ、ピアノ実技Ⅱ、総合表現Ⅰ、総合表現Ⅱ

【所属学会】日本声楽発声学会

【研究テーマ】バロック時代から近代までの声楽曲の演奏

【賞 罰】昭和 57 年 文化庁助成第 20 回日本演奏連盟推薦新人演奏会にて優勝

昭和 61 年度 文化庁芸術祭協賛公演「松田由理子リサイタル」文化庁より感謝状

平成 2 年 札幌市より札幌市民文化奨励賞

【研究業績】

【最近 5 年間の主な研究業績】 [平成 24～28 年度 (5 点まで)]

(平成 24 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	共 著	「伝承遊びの意義と実践」	『國學院大學北海道短期 大学部紀要』32	平 27.3

【平成 23 年度以前の主な研究業績】 (5 点まで)

種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
演 奏	独 唱	H.Purcell / When I am laid in Earth from Dido and Aeneas	声楽研究会 Lilies 主催 後援 札幌市・札幌市教育 委員会/札幌サンプラザコ ンサートホール	平 23.5
論 文	共 著	「保育士養成課程における保育内容の研究「総合表現」授業 実践に関する一考察」	『國學院大學北海道短期 大学部紀要』27	平 20.3

【最近の社会的活動】

東京国際声楽コンクール北海道大会審査委員 (平 22.8～平 23.8)

札幌市民芸術祭新人音楽会部会委員 (平 23.4～平 25.3、平 28.4～現在)

全日本学生音楽コンクール北海道大会声楽部門予選、本選審査員 (平 22.8～平 25.8)

演奏グループ「IRIS」の音楽指導、演出を担当 (平 2.4～現在)

札幌北高等学校 評議員 (平 14.4～平 25.3)

NPO 法人カルチャーナイト北海道共催 札幌サンプラザ・声楽研究会 Lilies 主催コンサートにて楽曲解説 (平 24.7)

札幌市栄地区センター運営委員会主催「ほのぼのコンサート」にて楽曲解説 (平 27.11)

【氏 名】田中 一徳 (タカ カズヲ)

【職 名】准教授 (幼児・児童教育学科 幼児保育コース)

【学 位】修士 (教育学)

【生年月日】昭和 45 (1970) 年 7 月 17 日

【本学就任】平成 21 (2009) 年 4 月 1 日

【略 歴】東京学芸大学 教育学部 人間科学課程生涯スポーツ専攻コミュニティスポーツ選修卒業

東京学芸大学大学院 教育学研究科 保健体育専攻生涯スポーツ講座コミュニティスポーツ分野修了

【専門分野】 ウェルネス、健康教育、野外教育、体験学習、生涯スポーツ

【担当科目】 健康科学、スポーツ演習 A・B、レクリエーション理論、レクリエーション実技、レクリエーション現場実習、人間と運動 (運動学)、体育の基礎、野外実習 (野外体験)、留学・海外研修等による単位認定科目 他

【所属学会】 日本体育学会、日本ウエルネス学会、日本野外教育学会、日本体育測定評価学会、日本発育発達学会、北海道体育学会

【研究テーマ】 ウェルネスをテーマとした健康行動の測定および自然体験活動に関する研究

【賞 罰】 なし

【研究業績】

【最近 5 年間の主な研究業績】 [平成 24~28 年度 (5 点まで)]

(平成 24 年 4 月 1 日~平成 29 年 3 月 31 日)

種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	単 著	「國學院大學北海道短期大学部学生の体力・運動能力に関する基礎的研究(2) - 2010 年から 2012 年実施の新体力テストの検討 -」	『國學院大學北海道短期大学部紀要』 30	平 25.3
論 文	単 著	「短大生における健康行動と精神的健康 - 学生精神的健康調査 (UPI) の実施結果 -」	『國學院大學北海道短期大学部紀要』 31	平 26.3
論 文	単 著	「短期留学生のライフスタイルに関する調査研究・ウェルネスチェックテストの実施結果」	『國學院大學北海道短期大学部紀要』 32	平 27.3
論 文	単 著	「滝川市におけるルゲィックウォキングを用いた健康教育講座の効果に関する検討」	『國學院大學北海道短期大学部紀要』 33	平 28.3
学会発表	単 著	「河川敷におけるルゲィックウォキングが血圧、ストレス、POMS に及ぼす効果・シニアいきいきクラブの女性参加者を対象として」	『日本ウェルネス学会第 13 回大会号』	平 28.9

【平成 23 年度以前の主な研究業績】 (5 点まで)

種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	共 著	「健康・体力づくりイベント参加者・不参加者の参加経験からみた参加動機とイベント情報入手方法」	『東京学芸大学紀要第 5 部門芸術・健康・スポーツ科学』 47 集	平 7.11
論 文	共 著	「総合的自然体験活動の授業実践とその検討 (3)」	『國學院大學北海道短期大学部紀要』 27	平 22.3
論 文	単 著	「國學院大學北海道短期大学部学生の体力・運動能力に関する基礎的研究 (1)」	『國學院大學北海道短期大学部紀要』 28	平 23.3
著 書	共 著	『野外教育入門シリーズ 第 1 巻野外教育の理論と実践「自然を感じるプログラム」』	杏林書院	平 23.6
論 文	単 著	「高齢者におけるルゲィックウォキングの運動効果に関する事例研究-公開講座受講者を対象として」	『國學院大學北海道短期大学部紀要』 29	平 24.3

【最近の社会的活動】

北海道滝川市社会教育委員会 委員 (平成 26.5~現在)

エフエムなかそら FM G'sky 番組審議委員会 委員長 (平 26.5~現在)

えべおつ丘陵地マラニック実行委員会 監事 (平 27.2~現在)

北海道砂川町総合戦略策定委員会 委員 (平 27.6~平 28.3)

そら地域活性化ネットワーク 事務局長 (平成 27.6~現在)

日本ウェルネス学会 理事 (平成 28.4~現在)

北海道滝川市「市民が活躍するまちづくり活性化事業補助金

交付事業市民審査会議」 委員 (平 28.6~現在)

【氏 名】松村 澄絵 (マツムラ スヱ)
 【職 名】特別専任准教授 (幼児・児童教育学科 幼児保育コース)
 【学 位】
 【生年月日】昭和 25 (1950) 年 5 月 22 日
 【本学就任】平成 16 (2004) 年 4 月 1 日
 【略 歴】旭川大学女子短期大学部幼児教育学科専攻科

.....
 【専門分野】幼児教育
 【担当科目】保育原理Ⅰ、保育原理Ⅱ、児童文学、教育課程論、教育方法論、保育内容総論、幼稚園副免実習
 【所属学会】日本保育学会
 【研究テーマ】保育所・幼稚園における保育実践の研究
 【賞 罰】なし
 【研究業績】

【最近 5 年間の主な研究業績】 [平成 24～28 年度 (5 点まで)]				
(平成 24 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月

【平成 23 年度以前の主な研究業績】 (5 点まで)				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	単 著	「幼保一元化施設運営の取り組み調査」	『國學院短期大学紀要』 23	平 18.3
論 文	共 著	「総合的自然体験活動の授業実践とその検討(1)」	『國學院短期大学紀要』 24	平 19.3
論 文	共 著	「総合的自然体験活動の授業実践とその検討(2)」	『國學院短期大学紀要』 25	平 20.3
論 文	共 著	「統合保育における障害ある幼児への特別支援教育計画 わかば幼稚園の事例をとおして」	『國學院短期大学紀要』 26	平 21.3
論 文	共 著	「総合的自然体験活動の授業実践とその検討(3)」	『國學院短期大学紀要』 27	平 22.3

【最近の社会的活動】

北海道教育大学旭川校非常勤講師 (平 13.4～平 25.3)

中空知図書館ネットワーク推進事業絵本の読み聞かせワークショップ・人材育成のための講座とおはなしカーニバル (平 20.6～現在)

深川市 2 歳児子育て支援講師 (平 21.4～平 25.2)

深川市子育てサポート講師 (平 21.4～現在)

北海道教育大学旭川校非常勤講師 (平 28.4～現在)

【氏 名】 田代 雄一 (タノ ユウイチ)
 【職 名】 教授 (幼児・児童教育学科 児童教育コース)
 【学 位】 学士 (教育学)
 【生年月日】 昭和 26 (1951) 年 10 月 19 日
 【本学就任】 平成 25 (2013) 年 4 月 1 日
 【略 歴】 北海道教育大学釧路校小学校課程卒業
 滝川市立滝川第一小学校校長
 空知教育センター所長

【専門分野】 教科教育学 (社会・算数数学)、教育方法学、学校学級経営論、教育カリキュラム論
 【担当科目】 社会概説、社会科指導法、教職実践演習、職業研究 C、職業研究 D、図書館概論、小学校教育実習 I、
 小学校教育実習 II、教育方法論、測定・評価、ゼミナール I、ゼミナール II
 【所属学会】 元日本教育工学会理事
 【研究テーマ】 学生の教職キャリア形成への関心や意識醸成の分析及び今日教師に求められている新しい時代を逞しく生きる子どもを心豊かに育成することのできる資質能力や教科指導・教育相談等の実践的指導力の基礎は何かを探り、それらをいかに形成するかを課題の検討を進める。
 【賞 罰】 平成 15 年 空知教育実践表彰、平成 20 年 北海道教育委員会日教弘教育賞特選
 平成 23 年 北海道教育委員会日教弘教育賞準特選

【研究業績】

【最近 5 年間の主な研究業績】 [平成 24～28 年度 (5 点まで)]				
(平成 24 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
著 書	共 著	滝川市社会科副読本 7 訂版「わたしたちの滝川」	滝川市教育委員会	平 24.3
論 文	共 著	「伝え合い、高め合う子どもの育成」	『滝川市立滝川第一小学校研究紀要』	平 24.3
論 文	単 著	「道徳の時間の指導過程と評価」	『國學院大學北海道短期大学部紀要』 31	平 26.3
論 文	共 著	「豊かな言語活動を通して、確かな国語の力を育む授業の究明」	『全道国語教育研究会紀要』	平 26.10
論 文	単 著	「個の進歩、能力を重視した指導」	『國學院大學北海道短期大学部紀要』 32	平 27.3

【平成 23 年度以前の主な研究業績】 (5 点まで)				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
著 書	共 著	滝川市社会科副読本 6 訂版「わたしたちの滝川」	滝川市教育委員会	平 20.3
論 文	共 著	「外国語活動における教材の効果的な活用及び評価の在り方に関する実践研究」	『文部科学省研究指定事業研究紀要』	平 23.3
著 書	共 著	『たきかわ「環のまち」物語』	滝川市エネルギービジョン検討会議	平 23.3
論 文	共 著	「つながりを創造する児童・生徒の育成」	『北海道道徳教育研究会紀要』	平 23.10

【最近の社会的活動】

北海道立滝川高等学校学校評議委員 (平 26.4～平 28.3)
 北海道第 5 採択地区教科用図書採択委員：数学 (平 27.4～平 27.12)
 社会福祉法人滝川ほほえみ会理事・評議員 (平 25.4～現在)
 滝川市子ども支援協議会会長 (平 26.4～現在)
 滝川市教育委員 (平 27.6～現在)

【氏 名】 春田 淳一 (ハタジユンイチ)
 【職 名】 准教授 (幼児・児童教育学科 児童教育コース)
 【学 位】 学士 (教育学)
 【生年月日】 昭和 29 (1954) 年 5 月 31 日
 【本学就任】 平成 28 (2016) 年 4 月 1 日
 【略 歴】 北海道教育大学教育学部旭川分校卒業
 滝川市教育委員会指導室長・指導参事
 滝川市立江陵中学校校長
 空知教育センター所長

【専門分野】 社会科教育、道徳教育
 【担当科目】 教育課程論、道徳教育論、特別活動論、児童理解、生活概説、生活科指導法、小学校教育実習 I、職業研究 C、ゼミナール I、ゼミナール II
 【所属学会】 北海道社会科教育研究連盟、空知社会科教育研究会、
 【研究テーマ】
 【賞 罰】 なし
 【研究業績】

【最近 5 年間の主な研究業績】 [平成 24～28 年度 (5 点まで)]				
(平成 24 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	共 著	「確かな学び」の育成を図る授業の構築	滝川市立江陵中学校	平 25.3
論 文	共 著	「確かな学び」の育成を図る授業改善とその方策	滝川市立江陵中学校	平 26.3
論 文	共 著	「豊かな言語活動を通して確かな国語の力を育む授業の究明」	北海道国語教育連盟	平 26.10
論 文	共 著	「確かな学び」の育成を図る授業改善とその方策	滝川市立江陵中学校	平 26.11
論 文	共 著	「確かな学力」の育成を図る学習指導の在り方	空知教育センター	平 28.3

【平成 23 年度以前の主な研究業績】 (5 点まで)				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	共 著	児童生徒の心に響く道徳教育の在り方	滝川市教育委員会	平 21.3
論 文	共 著	児童生徒の心に響く道徳教育の在り方～児童生徒に「生命の尊さ」を実感させる指導の工夫～	滝川市教育委員会	平 22.3
著 書	共 著	「指導要録記入の手引き」	滝川市教育委員会	平 23.4
論 文	共 著	「つながりを創造する児童、生徒の育成～心に響く資料を活用し、夢と感動を与える道徳の時間を目指して」	北海道道徳教育研究会	平 23.10

【最近の社会的活動】

滝川市教育委員会の権限に属する事務の外部評価会議委員長 (平 27.11～現在)

滝川市高等学校教育のあり方に関する検討市民会議委員長 (平 28.3～現在)

北海道滝川高等学校学校評議員 (平 28.4～現在)

一般社団法人滝川国際交流協会理事 (平 24.4～平 27.4)

【氏 名】矢口 元晴 (やがち もと晴)
 【職 名】准教授 (幼児・児童教育学科 児童教育コース)
 【学 位】学士 (教育学)
 【生年月日】昭和 28 (1953) 年 1 月 1 日
 【本学就任】平成 28 (2016) 年 4 月 1 日
 【略 歴】北海道教育大学教育学部旭川分校卒業
 在バングラデシュ日本国大使館附属ダッカ日本人学校
 上川教育研修センター所長

【専門分野】理科教育 生物 (動物発生学)
 【担当科目】教育原理、理科概説、総合学習Ⅰ・Ⅱ、ゼミⅠ・Ⅱ、教育相談、教師論、介護等体験Ⅱ
 【所属学会】日本初等理科教育研究会
 【研究テーマ】これからの教師に必要な資質・能力や指導の在り方と N.I.E の効果的活用方法について
 【賞 罰】なし
 【研究業績】

【最近 5 年間の主な研究業績】 [平成 24～28 年度 (5 点まで)]

(平成 24 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	共 著	「学力の確実な育成を図る指導と評価の在り方 ～目標達成に向けた授業構築～」	上川教育研修センター	平 26.3
論 文	共 著	「学力の確実な育成を図る指導と評価の在り方 ～思考力・判断力・表現力を育む指導と評価～」	上川教育研修センター	平 27.3
論 文	共 著	「学び合いで確かな学力を育てる学習指導の在り方」	上川教育研修センター	平 28.3

【平成 23 年度以前の主な研究業績】 (5 点まで)

種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
著 書	共 著	『札幌の自然を歩く』	北海道大学図書刊行会	昭 59.5
著 書	単 著	『黄金のベンガル (植物編)』	PADMA PRINTER	平 4.3
論 文	共 著	「自然との共生を志向し、探究的思考力をはぐくむ理科教育 ～生徒の思考の過程を大切にし、科学的な見方や考え方を 育てる理科学習～」	北海道中学校理科教育研 究会旭川大会	平 22.10
論 文	共著	「夢や希望をもち、自ら学び豊かにたくましく生きる児童生 徒を育てる学校教育の創造」	旭川市中学校長会	平 24.3

【最近の社会的活動】

旭川市春光地区民生委員・主任児童委員 (平 13.12～平 14.3) 北海道中学校理科教育研究会理事 (平 16.4～平 17.3)
 旭川市公民館運営協議会委員 (平 23.11) 旭川市中心部中学校統合準備委員会委員長 (平 24.2～平 25.2)
 旭川市新人奨励賞選考懇話会委員 (平 24.2) 旭川市博物科学館協議会副委員長 (平 23.11)
 地域とともにある学校づくり実行委員会副委員長 (平 26.6) 旭川市教科書選定委員会委員 (平 26.6～平 26.7)
 旭川市学校教育基本計画中間点検懇話会委員 (平 26.9) 北海道旭川美術館協議会委員 (平 26.4～27.3)
 北海道教科用図書選定審議会調査員 (平 27.4～平 27.6) 上川管内教育調査研究事業実行委員会副実行委員長 (平 27.8)
 北海道教育大学附属旭川中学校学校評議員 (平 28.4～現在)

【氏 名】鍋澤 信子 (ハベカ ノブコ)

【職 名】准教授 (専攻科福祉専攻)

【学 位】

【生年月日】昭和 28 (1953) 年 2 月 15 日生

【本学就任】平成 14 (2002) 年 4 月 1 日

【略 歴】深川市立高等看護学院卒業

【専門分野】介護福祉

【担当科目】心身機能構造、認知症の理解、発達と老化、社会と制度、介護実習、介護総合演習、介護過程、生活支援技術Ⅲ、医療的ケア

【所属学会】日本介護福祉士教育学会

【研究テーマ】介護福祉のベースとなる人間性、社会性教育強化のための授業内容

【賞 罰】なし

【研究業績】

【最近 5 年間の主な研究業績】 [平成 24～28 年度 (5 点まで)]

(平成 24 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月

【平成 23 年度以前の主な研究業績】 (5 点まで)

種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	共 著	「介護福祉士としての人間性教育の在り方～介護福祉士学生の意識調査から～」	第 7 回介護福祉教育学会	平 12.3
論 文	単 著	「『おむつ内排泄』体験学習の介護教育上の有効性—体験レポートからの分析と考察」	『國學院短期大学紀要』 22	平 16.3
論 文	単 著	「介護技術講習会における教授法と課題」	『國學院短期大学紀要』 25	平 20.3
論 文	単 著	「介護過程教育方法に関する一考察—福祉学生の介護課程実践に着目して—」	『國學院短期大学紀要』 26	平 21.3
論 文	単 著	「介護技術講習会が受講生の意識変化に果たす役割—受講生の意識調査より—」	『國學院大學北海道短期 大学部紀要』 27	平 22.3

【最近の社会的活動】

サンシャイン総合学園 介護教員研修講師 (厚生労働省指定) (「介護教育方法」「介護過程の展開」「研究方法」) (平 23.4～現在)
第 25・26 回介護福祉士国家試験 (実技試験) 実地試験委員 (平 25.3, 平 26.3)

北海道障害者職業能力開発校 介護職員初任者研修講師 (「認知症の理解」「生活支援技術」) (平 25.10～平 25.12, 平 26.10～平 26.12,
平 27.10～平 27.12, 平 28.10～平 28.12)

サンシャイン総合学園 実務者教員講習会講師 (厚生労働省指定) (「介護過程の展開」「評価」) (平 26.1, 平 26.10)

あずみ福祉カレッジ (厚生労働省指定) 実務者教員講習会講師 (「医療的ケア」「介護過程の展開」) (平 26.10)

【氏 名】藤本 愉 (フジモト ユキ)

【職 名】助教 (専攻科福祉専攻)

【学 位】修士 (教育学)

【生年月日】昭和 50 (1975) 年 8 月 28 日

【本学就任】平成 25 (2013) 年 4 月 1 日

【略 歴】北海道大学教育学部教育学科卒業

北海道大学大学院教育学研究科博士後期課程教育学専攻単位取得退学

【専門分野】発達心理学、教育心理学

【担当科目】保育内容 (言葉)、保育相談支援、教育相談、教育原理、障害児教育、児童家庭福祉、日本語の基礎、
保育実習指導Ⅱ・幼稚園教育実習、教育心理、発達と老化

【所属学会】日本発達心理学会、日本教育心理学会、北海道心理学会

【研究テーマ】障がい児家族のライフストーリー、ナラティブ、言説分析、談話分析

【賞 罰】なし

【研究業績】

【最近 5 年間の主な研究業績】 [平成 24～28 年度 (5 点まで)]

(平成 24 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	単 著	「就学前後における障害児の親の意識変化」	『國學院大學北海道短期 大学部紀要』 31	平 26.3
論 文	共 著	「伝承遊びの意義と実践」	『國學院大學北海道短期 大学部紀要』 32	平 27.3
論 文	単 著	「障害児をもつ家族における「父親」に関する検討と展望」	『國學院大學北海道短期 大学部紀要』 33	平 28.3

【平成 23 年度以前の主な研究業績】 (5 点まで)

種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	単 著	「語り研究における『共同性』の検討」	『北海道大学大学院教育 学研究科紀要』 90	平 15.6
論 文	共 著	「状況論的学習観における「文化的透明性」概念について： Wenger の学位論文とそこから示唆されること」	『北海道大学大学院教育 学研究科紀要』 93	平 16.6
論 文	単 著	「いかにスタッフらは〈問題を抱える子どもについて語る〉 という活動にアクセスするのか：談話実践としての療育カン ファレンスに関する検討」	『教育心理学研究』 53-1	平 17.3

【最近の社会的活動】

滝川市環境市民委員会委員 (平 25.7～現在)

滝川市中央老人福祉センターのあり方を検討する市民会議オブザーバー (平成 28.2～現在)

【氏 名】西原 律子 (ニハラ リツコ)
【職 名】特任准教授 (専攻科福祉専攻)
【学 位】

【生年月日】昭和 31 年 10 月 15 日

【本学就任】平成 28 年 4 月 1 日

【略 歴】道立砂川北高等学校
特別養護老人ホーム緑寿園施設長
國學院短期大学専任講師 (平 12.4～平 16.3)

.....
【専門分野】介護福祉

【担当科目】介護の基本、コミュニケーション技術、生活支援技術Ⅱ

【所属学会】

【研究テーマ】福祉ニーズの多様化に伴い、介護福祉士が専門分野として必然性とされる研究

【賞 罰】なし

【研究業績】

【最近 5 年間の主な研究業績】 [平成 24～28 年度 (5 点まで)]

(平成 24 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月

【平成 23 年度以前の主な研究業績】 (5 点まで)

種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月

【最近の社会的活動】

滝川市保健医療福祉推進市民会議委員 (平 26.5～平 28.3)